

議案—1. 平成26年度 活動報告

本会も発足して3年を経過しました。振り返ってみよう。
私たちは、安心安全の街づくりにどのように寄与したか？

子どもたちを見守り支える取り組みによって・・・

地域の安全を守る取り組みによって・・・

会員同士及び地域の人々との交流・連携によって・・・

会員が所属する団体の活動にどのような影響があったか？

ネットワークの強みを発揮した活動ができたか？

更なる前進に向けて

ネット内の議論を盛んにし、地域の人々との協働を密にし、全員参加の体制を構築し、
効率的な活動方法等について検討が必要。そして余裕ある笑顔の活動が！

1. 子どもたちを支え見守ろう！（子ども支援部）

子ども支援部としては、学校支援、防災・防犯活動を二本柱として地域づくりを目途としてきました。この事を肝に平成26年度の反省を致します。

(1) 学習参観・運動会を始め学校行事に積極的に関わっていく

学校行事には積極的に関わっていったと考える。又、学校よりのボランティア作業の応援にも協力できたと考える。

(2) 市総合防災訓練への協力

防災訓練への協力も、各部署において実行できたと考えます。特にバケツリレーについては地域の方々と共に多数の参加者があった。

(3) PTA 事業（バザー等）への協力

PTA 最大の事業と位置づけネットワーク会員の方々も大いに協力できたと感謝致します。

一方「廃品回収」については協力が少なかった（PTA の意見を聞くこと）。

(4) 歳末たすけあい事業として「クリスマスコンサート」の開催

歳末事業に対しては、昨年に引き続き（クリスマスコンサート）を開催しましたがお陰様を持ちまして、昨年以上の盛況で成功と考えます。

2. 地域の安全を守る仕組みをつくろう！（安全部）

(1) 市原市総合防災訓練・各町会安否確認後、南小児童と父兄を主体とした地域・学校一体型の訓練をネットワーク主体で計画・実施（8/31）

① 平日の登校前地震発生想定のもと一時避難場所から南小児童とその父兄及び町

役員による指定避難場所への避難誘導訓練

- ② 南小会場におけるバケツリレー及び水消火器使用訓練（消防第八分団指導）
- ③ 学校内災害対策本部の立上げ及び下校途中で強い地震発生を想定した集団下校訓練（学校／ネットワークの連携）
- (2) 南小学校「引渡し訓練」への参加（5/14）
- (3) 5 町会の防災関係担当者及び県災害対策コーディネータによる顔合わせ・情報交換（6/24）
- (5) 南小学校「防災教室」三階→一階へ移転、展示物追加（4/23）
- (6) 救急安全安心対応具体策の検討計画は「安心生活見守り支援事業」取組み検討案浮上にともない今年度未着手
- (7) 各町会における災害時「安否確認シート」の作成案検討に着手

3. 活動の環境整備をしよう！（総務部）

- (1) 会員相互の連携・協働を深めるために
 - ・防災研修（1月20日、東京消防庁/消防博物館見学、20人参加）および懇親会（21人参加）を各1回開催した。
 - ・会員間の連携を一層深めるための工夫が必要である。
- (2) 地域情報を共有するために
広報紙「みなみかぜ」8号～11号（4回）を発行。この中で我々のメインテーマの「子どもたちを支え見守る活動」や「防災活動」について写真報告し、「学校と地域のつながり」、「災害列島の防災」及び「ネットワーク活動の在り方」等について検討・報告した。
- (3) 先生、保護者及び学校支援ボランティアとの交流を深めよう
学校・PTA事業或いは歳末助け合い事業の中での交流であったが、もっと顔の見える連携を模索したい。
- (4) 防災・防犯について学ぼう
避難所運営訓練（NW、公民館共催）、総合防災訓練（市有秋南小地区）の他、千葉県災害対策コーディネーター認定養成講座（市原市等共催）にて学んだ。